

# News Letter

## 事務局よりのお知らせ

### 一会則および研究会名称の変更、事務局の移転について

形成外科手術手技研究会  
(旧形成外科内視鏡・手術手技研究会)  
運営委員長 小林 誠一郎

## 目次

- ・ 事務局よりのお知らせ
- ・ 形成外科手術手技研究会会則
- ・ 次回研究会のお知らせ
- ・ 第11会形成外科内視鏡・手術手技研究会報告

第11会形成外科内視鏡・手術手技研究会は多数の方々のご参加をいただき活発な討議がなされ成功裏に終了致しました。有意義な研究会を主催して頂きました鳥飼勝行会長ならびに横浜国立大学形成外科の皆様、そしてご参加頂いた皆様にお礼申し上げます。

さて、平成18年度運営委員会(平成18年2月18日開催)において、今後の本会の発展と活性化につき討議した結果、研究会名称を「形成外科手術手技研究会」に変更することが承認され、それに伴い下記のように会則の変更を行いました。また、事務局を委託とし、春恒社(〒162-0041 東京都新宿区早稲田 519 番地 洛陽鶴巻町ビル)内に置くこととなりましたのでお知らせします。

今後とも研究会活動の活性化と拡充を図りたいと思っておりますので、会員の皆様におかれましては、引き続き研究会活動にご尽力賜りますようお願い申し上げます。なお、開催された研究会のプログラムについては、日本形成外科学会誌等にお願ひし、掲載していただくことを予定しております。

## 形成外科手術手技研究会会則

### 第1章 総 則

第1条: 本会は形成外科手術手技研究会 (Japan Society for Innovative Techniques in Plastic Surgery 略称 JSITPS) と称するものであり、形成外科内視鏡・手術手技研究会およびその前身の形成外科内視鏡手術研究会より発展したものである。

第2条: 本会事務局は、春恒社(〒162-0041 東京都新宿区早稲田 519 番地 洛陽鶴巻町ビル)内に置く。

### 第2章 目的及び事業

第3条: 本会は形成外科における手術手技に関する研究、教育およびその普及、発展に努め、広く会員相互の知識の交流を深めることを目的とする。

第4条: 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催
- (2) 形成外科における手術手技に関する学術的交流
- (3) その他本会の目的達成に必要な事業

### 第3章 会 員

第5条: 本会の会員は次のとおりとする。

- (1) 正会員 本会の目的(第3条)に賛同し、第6条の所定の手続きを完了した医師。
- (2) 準会員 本会の目的(第3条)に賛同し、第6条の所定の手続きを完了した医師以外のもの。
- (3) 賛助会員 本会の目的に賛同し事業を援助する団体又は個人

第6条: 本会に入会を希望する者は所定の用紙に必要事項を記入し、当該年度の会費をそえて本会の事務局に申し込み、運営委員会の承認を受けなければならない。

第7条: 本会会員は毎年年会費を年度内に納入しなければならない。既納の会費はいかなる理由があっても、これを返還しない。

第8条: 学術集会における発表(演者および共同演者)は、会員ならびに会長が認めた者に限る。

第9条: 会員は、次の理由によってその資格を喪失する。

- (1) 退会
- (2) 禁治産者又は準禁治産者の宣告
- (3) 死亡又は失踪宣告
- (4) 除名
- (5) 3年以上会費を滞納した者
- (6) 研究会の解散

第10条: 会員で退会しようとする者は、理由を付して退会届けを運営委員長に提出しなければならない。

第11条: 会員が次の各号の一に該当するときは、運営委員会の決定を経て会長が除名することができる。

- (1) 本会の会員としての義務に違反したとき、または本会の事業を妨害したとき
- (2) 本会の名誉を傷つける、又は本会の目的に反する行為があったとき

第12条: 会員の特典は次のとおりとする。

- (1) 研究会よりの連絡
- (2) 本会の主催する行事への参加

### 第4章 役員

第13条: 本会は役員を次の如く定める。

- (1) 運営委員長 1名
- (2) 学術集會会長 1名
- (3) 運営委員 若干名
- (4) 幹事 若干名

- 第14条：役員は運営委員中より運営委員会の議を経て選任される。
2. 運営委員は運営委員会の推薦を得て、運営委員長がこれを委嘱する。
  3. 運営委員長、幹事の任期は3年とし、再任を妨げない。
- 第15条：運営委員長は本会を代表して会務を統括する。
2. 運営委員長および幹事は運営委員会にて次の報告を行う。
    - (1) 当該年度の事業報告並びに事業計画、収支決算並びに予算。
    - (2) その他必要と認められた事項。
  3. 学術集會会長は年次研究会を企画し、主宰する。

#### 第5章 運営委員会

- 第16条：通常運営委員会は、毎年1回、年次研究会会期中に運営委員長が召集する。また、臨時運営委員会は、運営委員長が必要と認めるとき、いつでも召集することができる。
- 第17条：運営委員会の議長は運営委員長をもってあてる。
- 第18条：運営委員会の召集は、少なくとも14日以前にその会議に付議すべき事項、日時、場所を記載した書面をもって通知する。
- 第19条：次の事項は、運営委員会で議決し、会員に報告する。
- (1) 役員の選出
  - (2) 事業報告及び収支決算
  - (3) 事業計画及び収支予算
  - (4) 本会則ならびに細則、付則の改正、変更
  - (5) 解散
  - (6) その他運営委員会において必要と認められた事項
- 第20条：運営委員会は、運営委員の3分の2以上の出席がなければその議事を開き議決をすることができない。但し、当該議事につき書面をもって予め意志を表示した者は出席者と見なす。
- 第21条：運営委員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところとする。
- 第22条：全ての会議は、議事録を作製し、議長が署名した上で、これ

を保存しなければならない。

#### 第6章 会計

- 第23条：
1. 本会の事業遂行に要する費用は、会費、寄付金およびその他の収入をもってこれにあてる。
  2. 本会の事業年度は毎年1月1日より、同年12月31日までとする。
- 第24条：その年度の運営委員長および事務局幹事は、運営委員会で決算報告を行う。

#### 第7章 補則

第25条：本研究会の事務局に次の帳簿および書類を備えなければならない。

1. 会則
2. 会員名簿
3. 役員名簿
4. 収入および支出に関する帳簿および証拠書類
5. 運営委員会議事録
6. その他必要な書類および帳簿

第26条：本会則を施行するために運営委員会の議を経て細則を定める。

#### 細則

1. 年会費は、当分の間正会員、準会員5,000円、賛助会員一口3万円（一口以上）とする。
2. 運営委員長は職務を遂行するために、必要に応じ事務局業務を委託することが出来る。

#### 附則

本会則は平成7年11月9日に設定、施行する。  
平成9年6月1日一部改正し、施行する。  
平成13年2月13日研究会名称変更にもない一部改正し、施行する。  
平成16年2月21日一部修正し、施行する。  
平成18年2月18日研究会名称変更にもない一部改正し、施行する。

## 形成外科手術手技研究会開催にあたって

### 第12回形成外科手術手技研究会 会長 鈴木 茂彦

第12回形成外科手術手技研究会を来る平成19年2月11日（土）JR京都駅前、ぱるるプラザ京都にて開催する運びとなりました。本会より形成外科内視鏡・手術手技研究会は形成外科手術手技研究会と改称されました。

近年は医療技術の多様化、高度化がすすみ、われわれ形成外科医も日々新しい治療・手術手技の開発に努力することは責務かと考えます。革新的な手術手技はもちろん、小さな改良、ちょっとした工夫でも、公の場にもちより検討することで、新しい発想を生み、大きく発展することも少なくないと考えております。本研究会がそのような場を提供できれば幸いと考えております。

現在プログラムの詳細は検討中です。会員の皆様のご期待に応えるべく、魅力的なテーマ、シンポジウム、特別講演、コンテストなどを計画中です。詳細は決まり次第、ホームページその他にてご通知いたします。

2月といいますと、京都は底冷えのするきびしい季節ですが、この京都の地で活発な討論を行いたいと考えております。開催日は、三連休の初日でもあります。寒いかもしれませんが研究会終了後京都観光などされるのも良いかと思っております。会場のぱるるプラザ京都はJR京都駅前の非常に交通の便の良いところにあります。演題のご応募、研究会へのご参加お待ちしております。

なお、演題募集は平成18年9月より開始の予定にしております。

#### 第12回 形成外科手術手技研究会

日時：平成19年2月11日（土）

場所：ぱるるプラザ京都（JR京都駅前）

会長：鈴木 茂彦（京都大学大学院 形成外科）

事務局：京都大学大学院 形成外科

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

事務局長：片岡 和哉

e-mail: itps2007@kuhp.kyoto-u.ac.jp TEL: 075-751-3613, FAX: 075-751-4340

## 第11回形成外科・内視鏡手術手技研究会 報告

本研究会は当初、形成外科における内視鏡手術手技を主体とした研究会としてスタートしましたが、現在では形成外科における様々な新しい手術手技を検討する会へと発展してきました。第11回形成外科内視鏡・手術手技研究会は、2006年2月18日（土）に横浜情報文化センターにて、横浜市立大学形成外科（会長：鳥飼勝行）が幹事校となり開催されました。本研究会は下記のプログラムのごとく一般演題23題、新企画17題、シンポジウム9題、特別講演1題と計50の演題が集まり、また参加者も120名を越え活発な討論が行われました。

一般演題では、頭蓋顎顔面、骨切り骨・骨延長術、再建1、再建2、手術手技・器機・材料の4つのセッションに行われましたが、本研究会の近年の傾向を反映して内視鏡手術手技に関する演題はありませんでした。今回、新たな試みとして『手術手技アイデアコンテスト』を企画しました。口演時間が3分と短いながら、斬新でオリジナリティーに溢れる演題が多数報告され、参加者と審査員の投票により優秀者に表彰しました。シンポジウムでは『骨延長術～われわれの工夫～』を企画し、形成外科領域における頭蓋顔面骨、四肢骨、指趾骨と異なる分野の骨延長について活発な討論が繰り広げられました。特別講演では韓国より Yonsei university の Chul Park 教授をお招きして『My Technical Change and Improvements to the Microtia Reconstuction Procedure』と題して、小耳症手術の最近の術式の変遷について講演していただきました。

本研究会は会期1日で1会場のみで50の演題と討論が行われ、幾分タイトなスケジュールとなりましたが、成功裏のうち無事に終了しました。本研究会開催に際して、内視鏡手術手技研究会運営委員をはじめとする形成外科の多数の先生方のご協力をいただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。

（文責：横浜市立大学附属市民総合医療センター 形成外科準教授 佐武利彦）

### 第11回

### 形成外科内視鏡手術手技研究会プログラム

日時：2006年2月18日（土）

会場：横浜情報文化センター

9:10～9:15 1. 開会挨拶 会長：鳥飼勝行  
9:15～9:50 2. 一般演題 I（頭蓋顎顔面：1～4）  
座長：森口隆彦（川崎医科大学）

1. 感染創から取り出した自家頭蓋骨を皮下保存後に再利用した1例  
長崎大学 形成外科 矢野浩規、津田雅由、田中克己、平野明喜
2. 上顎洞前壁を用いた眼窩床ブローアウト骨折の治療  
帝京大学医学部 形成外科 江口智明、松井恒太郎、成田圭吾、南和彦、天方将人、草野貴子、平林慎一
3. 眼球陥凹変形と鼻涙管閉塞の同時手術  
久留米大学 形成外科・顎顔面外科 西由起子、清川兼輔、渡部功一、王丸陽光
4. 能面作りの型紙技法を応用して術前計画どおりの鼻形成術を行う方法  
北里研究所病院美容医学センター病院 形成外科<sup>1)</sup> 北里大学医学部 形成外科美容外科学<sup>2)</sup> 宇津木龍一<sup>1)</sup>、佐藤英明<sup>1)</sup>、田中早苗<sup>1)</sup>、内沼栄樹<sup>2)</sup>

9:50～10:30 3. 一般演題 II（骨切り術・骨延長術：5～9）  
座長：川上重彦（金沢医科大学）

5. 中足骨短縮症に対して経皮的骨切り術による仮骨延長法を施行した1例  
島根県立中央病院 形成外科 岡本仁、荒田順
6. 上顎骨切り術におけるナビゲーションシステムおよび骨切り用連結ドリルの検討  
徳島大学 形成外科<sup>1)</sup> 松本和也<sup>1)</sup>、秋田浩二<sup>1)</sup>、中西秀樹<sup>1)</sup>
7. 回転式骨延長法  
横浜市立みなと赤十字病院 形成外科<sup>1)</sup> 香川県立中央病院 口腔外科<sup>2)</sup>、University of Washington<sup>3)</sup> 伊藤理<sup>1)</sup>、三次正春<sup>2)</sup>、Rafael E. Alcalde<sup>3)</sup>
8. 放射線照射例に対する下顎骨延長  
岩手医科大学 形成外科 柏克彦、小林誠一郎、林正康、那須和子、安岡智之

9. 成人例 Hemifacial microsomia 下顎延長治療の問題点と工夫  
慶應義塾大学 形成外科<sup>1)</sup> 独立行政法人国立病院機構東京医療センター 形成外科<sup>2)</sup> 東京歯科大学 歯科矯正科<sup>3)</sup> 緒方寿夫<sup>1)</sup>、佐藤博子<sup>2)</sup>、矢沢真樹<sup>1)</sup>、小林尚史<sup>1)</sup>、林正樹<sup>3)</sup>、坂本輝雄<sup>3)</sup>、中嶋英雄<sup>1)</sup>、中島龍夫<sup>1)</sup>

10:30～11:05 4. 一般演題 III（再建①：10～13）  
座長：細川 互（大阪大学）

10. 臍帯ヘルニア術後臍欠損に対する臍形成術  
横浜市立大学附属病院 形成外科 安村和則、前川二郎、牧野太郎、岩井俊憲、鳥飼勝行
11. 整容面に配慮した前腕皮弁の挙上法  
東海大学 形成外科 藤井海和子、宮坂宗男、谷野隆三郎
12. 硬口蓋粘膜移植と muscle-pedicle hyoid bone flap を用いた喉頭狭窄の手術  
慶應義塾大学病院 形成外科<sup>1)</sup> 慶應義塾大学病院 耳鼻咽喉科<sup>2)</sup> 大原博敏<sup>1)</sup>、緒方寿夫<sup>1)</sup>、中島龍夫<sup>1)</sup>、森有子<sup>2)</sup>、塩谷彰浩<sup>2)</sup>
13. 臍上部から対側腹部におよぶ腹壁瘻痕ヘルニアを有茎前外側大腿皮弁で再建した1症例  
九州大学耳鼻咽喉科 形成外科診療班<sup>1)</sup> 済生会福岡総合病院 形成外科<sup>2)</sup> 久留米大学 形成外科・顎顔面外科<sup>3)</sup> 福島淳一<sup>1)</sup>、右田尚<sup>2)</sup>、井野康<sup>3)</sup>、清川兼輔<sup>3)</sup>

11:15～11:35 6. 手術手技アイデアコンテスト I（1～4）  
座長：鈴木茂彦（京都大学）

1. 成人の両側口唇裂の高度外傷変形に対する forked flap 法における新しい工夫  
久留米大学 顎顔面形成外科学 力丸英明、清川兼輔
2. 軟口蓋裂に対する、新たなデザインのpush back法  
-M型粘膜骨膜弁を用いた鼻側側粘膜の延長-  
川崎医科大学 形成外科 稲川喜一、森口隆彦
3. 口角をまたぐ Eatlander-Abbe flap における一期的口角形成の工夫  
愛知医科大学 形成外科<sup>1)</sup> 若葉病院 形成外科<sup>2)</sup> 竹市夢二<sup>1)</sup>、横尾和久<sup>1)</sup>、河野鮎子<sup>1)</sup>、青山久<sup>1)</sup>、多田宏行<sup>2)</sup>
4. 頭部Superficial Basal Cell Carcinomaに対する整容的な手術方法  
福井大学医学部 皮膚科形成外科診療班<sup>1)</sup> 北海道大学 形成外科<sup>2)</sup> 福井大学医学部 皮膚科<sup>3)</sup> 安田聖人<sup>1)</sup>、小浦場祥夫<sup>2)</sup>、青山千晶<sup>3)</sup>、清原隆宏<sup>3)</sup>、熊切正信<sup>3)</sup>

11:35~11:55 7. 手術手技アイデアコンテスト II (5~8)  
座長:丸山 優 (東邦大学)

- 眼窩壁への移植骨としての腸骨髄質の有用性  
神戸大学大学院医学系研究科 形成外科学 橋川和信、辻 依子、寺師浩人、田原真也
- 確実に容易に鼻背部骨膜下へ軟骨を挿入するための小工夫  
東北大学病院 形成外科 今井啓道<sup>1)</sup>、清野広人<sup>2)</sup>、山田 敦<sup>3)</sup>
- 鼻内視鏡補助下でのBlowout骨折治療の工夫  
-新しい骨再建材料としての下鼻甲介-  
東京警察病院 形成外科<sup>1)</sup> アベニュー六本木クリニック<sup>2)</sup> クリニカ市ヶ谷<sup>3)</sup> 渡辺頼勝<sup>1)</sup>、小澤剛<sup>1)</sup>、秋月種高<sup>1)</sup>、吉村圭<sup>1)</sup>、澤田彰史<sup>1)</sup>、杉田礼典<sup>1)</sup>、寺島洋一<sup>2)</sup>、倉片優<sup>3)</sup>、大森喜太郎<sup>3)</sup>
- S S式ケーブルスーチャーを用いた内視鏡下眉毛吊り上げ手術  
神鋼病院 形成再建外科 田中嘉雄、緒方慶隆、小田敦司、親松宏、曾東洋平

11:55~12:15 8. 手術手技アイデアコンテスト III (9~12)  
座長:保阪善昭 (昭和大学)

- 順行性Distally based perforator medial plantar flapによる足底前足部の再建  
<sup>1)</sup>神戸大学大学院医学系研究科 形成外科学 <sup>2)</sup>新須磨病院 創傷治療センター 辻 依子<sup>1)</sup>、寺師浩人<sup>1)</sup>、北野育郎<sup>2)</sup>、田原真也<sup>1)</sup>
- 脊髄損傷患者のQOL改善に向けて、1石3鳥皮弁モデルによる褥瘡対策アイデア  
東京大学 形成外科・美容外科<sup>1)</sup> 帝京大学 形成外科・美容外科<sup>2)</sup> せきぐちクリニック<sup>3)</sup> 三原誠<sup>1)</sup>、成島三長<sup>1)</sup>、朝戸裕貴<sup>1)</sup>、光嶋 勲<sup>1)</sup>、江口智明<sup>2)</sup>、平林慎一<sup>2)</sup>、関口順輔<sup>3)</sup>
- エアスプレー一体型電気メス 熱傷創の止血  
聖マリア病院 形成外科 三川信之
- Tube Express法:安全かつスムーズに皮下トンネルを通過するために  
自治医科大学 形成外科 宮村卓、菅原康志、香川広司、辻直子、須永中

12:15~12:40 9. 手術手技アイデアコンテストIV (13~17)  
座長:中島龍夫 (慶応義塾大学)

- 小児の母指仮骨延長における工夫 -細いK-wireを使用せざるを得ない場合-  
長浜赤十字病院 形成外科 玉井求宜、黒川正人、服部亮、金城紅子
- One side Mattress 縫合法  
福島県立医科大学形成外科 梶川明義、上田和毅
- Perifascial Areolar Tissue (PAT) graftとその応用  
カレスサッポロ形成外科メモリアル病院<sup>1)</sup> 福井大学医学部 皮膚科<sup>2)</sup> 北海道大学医学部 形成外科<sup>3)</sup> 函館中央病院 形成外科<sup>4)</sup> 市立札幌病院 形成外科<sup>5)</sup> 小浦場祥夫<sup>1)</sup>、安田聖人<sup>2)</sup>、坂本泰輔<sup>3)</sup>、竹内章晃<sup>3)</sup>、山本有平<sup>3)</sup>、木村中<sup>4)</sup>、吉田哲憲<sup>5)</sup>、熊切正信<sup>2)</sup>、杉原平樹<sup>1)</sup>、本田耕一<sup>1)</sup>
- Split-lattissimus dorsi muscle flapによる顔面神経麻痺動的再建術  
神鋼病院 形成再建外科 田中嘉雄、緒方慶隆、小田敦司、親松宏、曾東洋平
- Nuss法漏斗胸手術における胸骨挙上システムの開発  
福岡大学 形成外科 大慈弥裕之、木下浩二、白武靖久、花輪明子、西平智和、大山拓人

12:40~13:40 10. 特別講演 司会:上石 弘 (近畿大学)

My Technical Changes and Improvements to the Microtia Reconstruction Procedure

The Seoul Center for Developmental Ear Anomalies, Yonsei University Professor Chul Park, M.D., Ph. D

13:50~14:25 12. 一般演題 IV (再建②:14~17)  
座長:鳥居修平 (名古屋大学)

- 分割広背筋皮弁を用いた円形状欠損に対する再建方法  
東京臨海病院 形成外科<sup>1)</sup> 癌研究会附属病院 形成外科<sup>2)</sup> 東邦大学 形成外科<sup>3)</sup> 癌研究会附属病院 整形外科<sup>4)</sup> 稲見浩平<sup>1)</sup>、荻野晶弘<sup>1)</sup>、堀江和幸<sup>1)</sup>、澤泉雅之<sup>2)</sup>、丸山優<sup>3)</sup>、神子良康<sup>3)</sup>、川口 智義<sup>1)</sup>、松本 誠<sup>4)</sup>
- 浅側頭動静脈を付加したExpanded forehead flapの検討  
日本大学医学部 形成外科<sup>1)</sup> 東京女子医科大学 形成外科<sup>2)</sup> 磯野伸雄<sup>1)</sup>、井砂 司<sup>1)</sup>、佐々木健司<sup>1)</sup>、野崎幹弘<sup>2)</sup>

- V-Y advancement flap vs Extended V-Y advancement flap  
神戸大学 大学院医学系研究科 形成外科学 寺師浩人、田原真也
- 下肢静脈瘤におけるmicro phlebectomyの経験  
東京女子医科大学 形成外科 東盛貴光、八巻隆、越智正和、北澤義彦、堀圭二朗、野崎幹弘

14:25~15:15 13. 一般演題 V (手技・手術機器材料:18~23)  
座長:小林誠一郎 (岩手医科大学)

- 簡便な抜糸が可能であるRibbon-knot suturing techniqueを用いた小児創閉鎖法  
日本医科大学附属病院 形成外科<sup>1)</sup> 新潟手の外科研究所<sup>2)</sup> 佐野和史<sup>1)</sup>、百束比古<sup>1)</sup>、吉津孝衛<sup>2)</sup>、牧裕<sup>2)</sup>、坪川直人<sup>2)</sup>
- 広背筋皮弁の切離時におけるリニヤーカッター (プロキシメイト)の有用性  
近畿大学医学部附属病院 形成外科<sup>1)</sup> 近畿大学医学部附属病院 外科<sup>2)</sup> 遠所瑞祐<sup>1)</sup>、磯貝典孝<sup>1)</sup>、蔡顕真<sup>1)</sup>、朝村真一<sup>1)</sup>、上石弘<sup>1)</sup>、橋本幸彦<sup>2)</sup>、乾活己<sup>2)</sup>、綿谷正弘<sup>2)</sup>、塩崎均<sup>2)</sup>
- 創創状強皮症に対してリン酸カルシウム骨ペーストの移植を行った1例  
長浜赤十字病院 形成外科 黒川正人、服部亮、金城紅子、玉井求宜
- ガンマプローブを用いたセンチネルリンパ節生検  
金沢医科大学 形成外科<sup>1)</sup> 黒澤智子<sup>1)</sup>、山下昌信<sup>1)</sup>、森田礼時<sup>1)</sup>、島田賢一<sup>1)</sup>、川上重彦<sup>1)</sup>
- 外傷による関節損傷におけるPIP表面置換型人工指関節の治療経験  
聖マリア病院 形成外科 巢瀬忠之、三川信之、村松英之、斉藤計太、手塚崇文
- 陰茎海綿体神経再建術におけるknot sliderの使用  
香川大学 形成外科<sup>1)</sup> 香川大学 泌尿器科<sup>2)</sup> 宗内 巖<sup>1)</sup>、桑田善弘<sup>2)</sup>、井川浩晴<sup>1)</sup>、寛 善行<sup>2)</sup>

15:15~16:50 14. シンポジウム  
『骨延長術 ~われわれの工夫~』(1~9)  
座長:平野明喜 (長崎大学) 平林慎一 (帝京大学)

- 中足骨短縮症に対する創内固定による骨延長術  
杏林大学医学部 形成外科 尾崎峰、多久嶋亮彦、百澤明、波利井清紀
- 四肢延長術、とくに指趾の骨延長術の検討  
新潟大学形成外科<sup>1)</sup>、新潟大学整形外科<sup>2)</sup> 柴田 実<sup>1)</sup>、鈴木 肇<sup>1)</sup>、飛沢泰友<sup>1)</sup>、佐藤理行<sup>2)</sup>
- 身長を高くするための下腿骨延長術  
メガクリニック 高柳 進
- 骨延長術 一われわれの工夫- 頭蓋骨延長術開発の裏側  
自治医科大学 形成外科<sup>1)</sup> 帝京大学 形成外科<sup>2)</sup> 都立大塚病院 形成外科<sup>3)</sup> 菅原康志<sup>1)</sup>、平林慎一<sup>2)</sup>、櫻井淳<sup>3)</sup>
- Hemifacial Microsomiaにおける下顎骨volumeを考慮した骨切りの工夫  
愛知医科大学 形成外科<sup>1)</sup> 若葉病院 形成外科<sup>2)</sup> 河野鮎子<sup>1)</sup>、竹市夢二<sup>1)</sup>、横尾和久<sup>1)</sup>、青山久<sup>1)</sup>、多田宏行<sup>2)</sup>、加藤正也<sup>2)</sup>
- 唇顎口蓋裂患者に対し補綴処置の回避と顔貌の改善を目指した骨延長法の工夫  
横浜市立大学附属市民総合医療センター 歯科・口腔外科・矯正歯科 大村 進
- 内固定型Le Fort I骨延長術:有効なデバイスの装着法  
聖マリア病院 形成外科<sup>1)</sup> 聖マリア病院 矯正歯科<sup>2)</sup> 昭和大学医学部 形成外科<sup>3)</sup> 三川信之<sup>1)</sup>、佐藤兼重<sup>3)</sup>、森下 格<sup>2)</sup>、巢瀬忠之<sup>1)</sup>、村松英之<sup>1)</sup>、斉藤計太<sup>1)</sup>、手塚崇文<sup>1)</sup>、保阪善昭<sup>3)</sup>
- ハロー型外固定型延長器と内固定型延長器の併用による骨延長  
大阪医科大学 形成外科 上田晃一、大場創介、中井國博、廣田龍一郎、文元裕道、岡田 雅
- 中顔面骨延長術におけるLe fort型骨きり術の一工夫  
香川県立中央病院 歯科口腔外科 三次正春

※ 手術手技アイデアコンテスト表彰者 ※

- |        |                    |          |
|--------|--------------------|----------|
| 会長賞    | 聖マリア病院 形成外科        | 三川信之 先生  |
| 審査員特別賞 | 川崎医科大学 形成外科        | 稲川喜一 先生  |
| 優秀賞    | 福島県立医科大学形成外科       | 梶川明義 先生  |
| 最優秀賞   | カレスサッポロ形成外科メモリアル病院 | 小浦場祥夫 先生 |